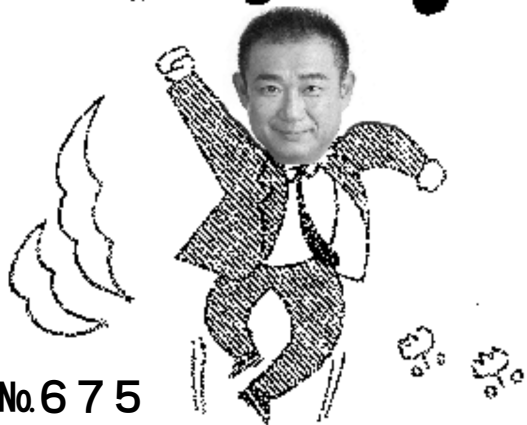


日本共産党前区議会議員

かきうち 信行 レポート



No.675

7月3日(金) 都知事選で宇都宮支援ひろがる

5日投開票で行われている東京都知事選挙で、市民と野党の共闘候補である宇都宮健児さんの支援が急速に広がってきました。

これまで小池都知事を応援してきたという南長崎にお住まいの方は、「コロナ対策で一生懸命やっていると思うていたが、検査体制も不十分」「池袋で感染が広がってきているのに、何の手立てもない」と批判が広がっています。



さらにマスコミ(日刊ゲンダイ)からは、公務と称し、小池都知事が池袋の夜の街対策で豊島区内での「密」な集會に参加。地元の有力者を集めて都知事選の支持固め、あくまで自分ファーストと批判されました。

一方、宇都宮さんの政策に共感がひろがり、小池都政から命と暮らしを守るうという声が増しに強まってきました。

地元の日本共産党の支部、後援会は、宇都宮さんを都知事に押し上げようと、かきうち事務所から電話での支持依頼、朝の駅頭宣伝、街角でのメガホン宣伝、法定ビラ配布などみんなで力をあわせて奮闘しました。



7月5日(日) 宇都宮候補84万票大健闘

この日投開票された東京都知事選挙で、日本弁護士連合會元会長の宇都宮健児候補は、84万4151票を獲得し、



大健闘しました。

「自己責任よりの社会的連帯、支えが重視される社会を一緒につくろう」との訴えは共感を呼び、市民と野党の共闘が大きく前進しました。

宇都宮さんは、選挙戦で「新型コロナウイルス危機から命と暮らしを守りぬく」として、PCR検査の拡充、保健所医療体制の強化などを主張。仕事や住まいを失い、営業継続が困難となった人への支援策の実現を訴えてきました。

市民と野党の共闘の力は今後も安倍政権を倒す大きな前進と展望を示した選挙となりました。豊島区でも立憲民主党や社民党との共闘が広がりました。

7月7日(火) 東長崎駅で豪雨災害救援募金訴え



6日、7日と九州地方を中心に梅雨前線が停滞する猛烈な雨で、多くの死者や行方不明者が出る大災害に見舞われました。日本共産党は、ただちに対策本

部を立ち上げ、被災地での聞き取り、支援の取り組みを開始。現地では、新型コロナウイルスによる深刻な打撃に加えての大災害に悲鳴が上がっています。

日本共産党はこうしたなか、全国の党組織、議員、支部が災害救援募金に取り組むこととし、私は、きょうの朝の駅頭宣伝から支部の皆さんと募金活動に取り組みました。(写真)

駅頭宣伝のお知らせ

早朝の駅頭宣伝に是非、短時間でもご参加ください。これには、かきうち前区議が参加します。(雨天は中止します)

- 当面の日程は次のとおりです。いずれも毎週火曜日、朝7時30分からです。
- 7月21日(火) 椎名町駅北口
- 7月28日(火) 椎名町駅南口
- 8月の宣伝は休止します。

7月10日(金) 区民アンケート2490通超える

日本共産党区議団が、取り組んでいる豊島区民アンケートは、今日まで2492通の回答が寄せられました。前回のアンケートでは、最終で2423通でしたからこれを超

えました。

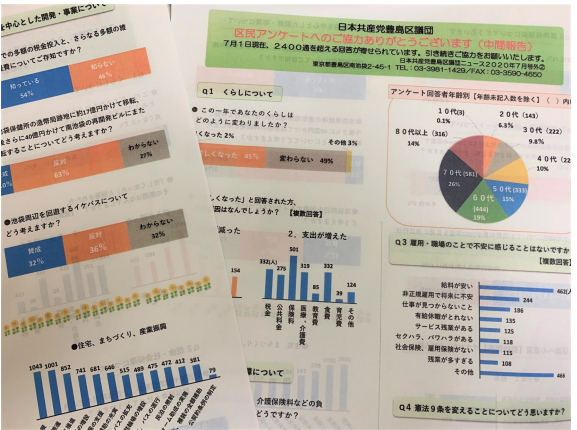
私は、寄せられた回答すべてに目を通し、深刻な相談内容が書かれたものにはその都度対応しています。

この1年で暮らしが「苦しくなった」が45%、「良くなった」はわずか2%です。また、住民税、健康保険・介護保険料などの負担が「重くなった」は55%、「これ以上の負担は耐えられない」は75%と圧倒的に多くなっています。区民が置かれている厳しい実態が明らかになりました。

区政でやってほしいことは、●子育て・教育では、認可保育園の増設、待機児童の解消●医療・福祉・介護では、国民健康保険料、医療費負担の引き下げ●住宅、街づくり、産業振興では、街の美化、ごみ対策●防災、震災対策では、避難場所の確保が一位を占めました。

（中間のまとめは、区議団ニュース7月号外で掲載しました。）

アンケートは分析して、直ちに区政に反映させることとあわせ、政策や来年の都議選公約の基本としたいと考えています。多くの皆さんの回答を引き続きお願いします。



7月13日（月）生活相談多く寄せられています

新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの方から不安や困窮の声が広がり、日本共産党にさまざまな相談も寄せられています。私は、この間黨員や、後援会の方とともに、一人ひとりの相談に乗りながら解決にあたっています。

生活保護の申請、10万円の給付金申請のアドバイス、持続化給付金の手続き、家賃補助、さらにはここにきて国保料、年金、生活保護受給に関することなど生活にかかわる相談が圧倒的に増えているのが特徴です。

国の制度、都の制度、区の制度といろいろあって本当に今の行政はわかりにくく、知らないで泣き寝入りやもらえるものまでもらえないままやり過ごすところだったものも見過ごせません。

何かわからないことや困りごとありましたら気軽ににご相談ください。

7月15日（水）第2回定例区議会閉会

都知事選挙を挟んで開会されていた区議会定例会が、今日閉会しました。

今定例会で注目されたことは、区民から提出された「議員による差別発言やヘイトスピーチへの対応を求める請願」について、沓沢区議が「請願者の氏名、住所は把握してい

る」とツイッターに投稿したことが大きな問題とされたことです。

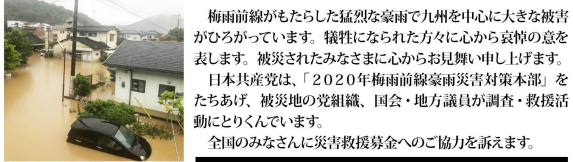
「身の危険を感じた。正式な形で声をあげた区民への抑圧だ」と訴えました。

請願は、今日の本会議で、沓沢区議以外の全会派一致で採択されました。

これまで、沓沢区議が、伊藤詩織さんの性暴力被害訴訟勝訴を受け、「女性が社会的・経済的に攻撃できる判例が出た。恋をして結婚したい男女にとって非常に不利な判決」などとツイッターに投稿。これを受けて、性暴力の根絶を目指す決議が、日本共産党などが議員提案しましたが、自民党、公明党、都民ファ・民主が反対し、賛成少数で否決されました。

しかし、世論の広がりや性暴力は許さない声の広がりが、今定例会の初日には、別の性暴力の根絶を目指す決議案が沓沢区議以外の全会派の賛成で可決されました。

2020 豪雨災害 救援募金にご協力を



募金の受付先は
郵便振替 00170-9-140321
日本共産党災害募金係
※通信欄に必ず「2020年豪雨災害救援募金」とご記入ください。手数料はご負担願います。

▲避難所の町民総合センターで被災者の話を聞く日本共産党の田村貴昭衆議院議員（正面左）と地方議員ら＝5日朝、芦北町

▲浸水した熊本県芦北町＝4日

東京民報 2020年7月号外
ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
発行：東京民報社（国定149号）1965年11月12日創刊



日本共産党は、7月9日新宿駅西口で志位委員長先頭に緊急の「二〇二〇年豪雨災害救援募金」に取り組み街頭募金活動を行いました。長崎地域でも募金活動に取り組んでいます。最寄りの黨員、かきうちまで声をおかけください。

お気軽に
相談ください。

日本共産党前豊島区議会議員

かきうち 信行



自宅 03-3950-3675
控室 03-3981-1429
連絡は右記へお願いします。